

進路だより

令和元(2019)年10月
発行：栃木県立益子特別支援学校

秋冷の候、皆様にはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
今回は、「進路相談会報告」「とちぎアビリンピック参加報告」「夏季研修報告」
「2学期の主な進路関係行事」「頑張る先輩」の内容をお届けいたします。

進路相談会報告

7月22日(月)、23日(火)に中学部3年生・高等部2、3年生を対象に進路相談会が実施されました。この相談会は、関係諸機関の方々との関係作りや高等部卒業後の進路実現について、また、様々な福祉サービスの利用について、助言や情報提供をいただくことを目的として行われています。生徒、保護者、各市町の福祉課、真岡市障害児者相談支援センター、芳賀郡障害児者相談支援センター、県東圏域障害者就業・生活支援センター「チャレンジセンター」、障がい者生活支援センター「こぶし」、真岡公共職業安定所の方々が集い、各生徒の進路や現状について個別に相談会を行いました。

この会をきっかけとして、福祉サービスの利用を考えたり、就労に向けて家庭生活や学校生活を改善したりと進路に向けて意識を高めました。



とちぎアビリンピック参加報告

7月6日(土)栃木職業能力開発促進センターにて開催され、4種目の競技に6名の生徒が出場し、力を発揮してきました。参加した各生徒によくできたことを聞いてみました。

①喫茶サービス…模擬的に設置された喫茶店で、来客されたお客様に対して他の従業員と連携・協力しながら行います。お客様の立場に立って、正確かつスムーズにサービスを提供する技術を競うものです。

1-1 Sさん「初めての大会で緊張しましたが、覚えたところはスムーズに行動できました。」

1-1 Sさん「お客様がいる中、落ち着いて取り組むことができました。」

2-1 Tさん「注文を間違えずに、オーダーを取ることができました。」

②オフィスアシスタント…「手紙を出す」までの手順(文書の三つ折り作業、宛名シール貼り、封入作業、封筒の仕分け作業)を競技にしたものです。

3-1 Tさん「作業内容が変更になりましたが、学校で練習したことを生かし、ベストを尽くすことができました。」

③ビルクリーニング…作業面積は16㎡(4m×4m)で指定時間内に、挨拶からごみ箱の処理、床面の掃き、拭き、机上拭きなどの基本作業を行い、作業の効率化、清掃の正確性などを競います。

2-1 Tさん「清掃時の姿勢を意識して、力強く机を拭くことができました。」

④製品パッキング…お客様に届く製品の荷造り・包装作業で、化粧箱・梱包緩衝材の組立や商品の組入れと梱包をします。

2-1 Kさん「競技会を終えて、もっと頑張りたいと思いました。」

～次年度に向けて、改善した方がよいことをみなさんに聞いてみました～

「思ったよりも声が小さかったので、声の大きさに気をつけたい。」

「一つ一つの接客を確実に行いたい。」

「スピードを意識し続けることができるようになった。」

「苦手意識があっても、もっと考えながら行えばよかった。」

「その場の空気にもまれず、練習どおりにできるようにしたい。」

「清掃用具を適切に扱えるようになりたい。」

選手のみなさん、お疲れさまでした。
また、応援に来てくれた生徒のみなさんありがとうございました。



夏季研修報告

☆7月25日（木） 施設見学～とちぎライトセンター～

視覚障害者の方が多く利用している福祉施設です。提供しているサービスは、「就労継続支援B型」「生活介護」「相談支援」です。また、宇都宮市の任意事業として、「福祉ホーム」を2階に設置しており、現在5名の方が夜間生活の場としています。

「B型」の作業は、牛乳パックを利用した椅子作り、クッキー作り、さをり織り等です。

右の写真は主力商品の椅子です。とてもかわいらしく、かつ丈夫にできています。

施設長の佐久間さんによると、今後は知的障害者の受入れを積極的にしていきたいとのことで、本校からも2学期の産業現場等における実習や、中学部職場体験で数名の生徒がお伺いする予定です。また、地域からのニーズが高まれば、「グループホーム」の開設も考えているとのことです。

詳しい情報をお知りになりたい方は、進路指導部まで御相談ください。



所在地 宇都宮市竹下町1200
電話番号 028-670-3171
サービス 「就労継続支援B型」(定員24)
「生活介護」(定員6)
「福祉ホーム鬼怒」(定員10)
※どのサービスも若干名空きあり

☆7月29日（月） 進路研修会～福祉施設説明会～

今年度の職員研修は、生徒たちが実習等でお世話になっている「就労継続支援A型」の事業所をお招きし、職員向けにサービス等の説明をしていただく会を設けました。

今回御参加くださったのは以下の事業所です。

『わらくや』（真岡市）：養鶏業とそれに伴う軽作業、眼鏡製造、脂取り紙製造等

『たすかる』（宇都宮市）：リサイクル業、ホテル清掃業等

『スマイル上三川』（上三川町）：自動車部品検品、名刺データチェック、倉庫作業等

A型事業所では、利用者と雇用契約を結んだ上で仕事に従事してもらうため、それぞれの事業所で求める利用者像が異なってきますが、共通しているのは「自力で通勤できること」「賃金を受け取るのに見合った仕事ができること」「働きたいという意欲があること」です。



☆教員の職場体験研修の感想☆

「ふらっと宇都宮ゆう」

利用者の状況や思いに合わせて、丁寧に対応している様子がとてもよく伝わってきました。子どもたちと一緒に調理をして昼食の準備をしたり、誕生会をしたりしている様子を拝見し、温かくアットホームな雰囲気が素晴らしいと思いました。

「はーとらんど」

看護師が勤務しており、医療的ケアを受けることができる施設でした。利用者としっかりとコミュニケーションをとりながら、活動の支援をしていることが印象的でした。

「リズム時計工業株式会社」

パチンコ店で使用するリモコンの製造を体験させていただきました。写真入りの工程表に沿って組立を行いますが、細かい部分（すれ、表裏、上下、傷等）をしっかりと確認しなければならないので、集中力を要する作業でした。また、立ち仕事で、しかも同じ姿勢での長時間作業なので局部疲労がたまりやすく、しっかりとした体調管理が大切だと感じました。

「わらくや」

養鶏場にて、卒業生のOさんと一緒に鶏舎清掃の作業を行いました。8月の鶏舎は非常に高温で、しかも前日に降った雨による水分を含んだ鶏糞は重く、半日の作業ではありましたがとても過酷な労働でした。しかし、Oさんが黙々と作業をしている姿は頼もしく、事業所からも「就職して半年、欠かせない戦力となっている」との言葉をいただき、うれしく思いました。私たちの生活を支える第一次産業の現場について、そのやりがいと厳しさを知る貴重な機会となりました。

☆今後の進路関係行事予定☆

- 9月30日（月）～ 高等部2，3年：産業現場等における実習、1年：校内実習
- 10月15日（火）～ 中学部：校内作業実習
- 10月17日（木） 高等部1年：職場見学（ひばり）
- 10月24日（木） 高等部実習報告会
- 10月25日（金） 中学部実習報告会
- 11月 7日（木）～ 中学部：職場体験
- 11月11日（月） 高等部1年：職場見学（ホンダテクノフォート）
- 12月 5日（木） 高等部課程Ⅱ：ビジネスマナー講習会
- 12月16日（月） 高等部課程Ⅰ：ビジネスマナー講習会

がんばる先輩 ～卒業生の紹介～

日本梱包運輸倉庫株式会社に勤めている

Kさん（平成30年度高等部卒業）にお話をうかがいました。

○どのようなお仕事をしていますか？

- ・トイレ部品の組立作業をしています。

○仕事で気を付けていることはありますか？

- ・朝礼で言われたことや作業指導書を事前に見て、手順を確認したり、ミスをしないようにしたりしています。

○今後の目標を教えてください。

- ・自分の仕事が少しずつレベルアップできるだけでなく、周りの仕事も手伝えるように積極的に取り組んでいきたいです。

○後輩にひと言お願いします。

- ・ルールを守ることが大切です。けがや事故などの予防につながります。

会社の方から

- ・無遅刻・無欠勤で、6月からは自家用車で安全に気をつけて通勤をしています。仕事面では、実習中の組立補助から、トイレの擬音機器の組立作業に取り組むなど成長しています。本人も自信がついてきており、「残業をやらせてほしい」と話があり、意欲も感じました。これからも体調に気を付けて目標をもって頑張ってもらいたいです。